

製品安全データシート

1 製品及び会社情報

住友スリーエム株式会社
 所在地 本社 東京都世田谷区玉川台2-33-1
 担当部門 オト・アフターマーケット 製品事業部技術部
 電話番号 042-779-2185

MSDS No : 10-2861-2 発行日 : 2004年02月17日
 版 : 3.01 前発行日 : 2004年02月16日

製品名

名称
 インペリアルハンドグレーズ P/N5990

3Mストックナンバー

CN-1006-9456-7 XC-0616-7893-1 60-9800-0965-2 60-9800-1129-4 60-9800-1528-7

2 組成、成分情報

単一化学物質・混合物の区別: 混合物

成分及び含有量

成分	CAS No	含有量 (%)
水 化審法番号: 対象外	7732-18-5	60 - 90
石油ナフサ 化審法番号: (9)-1702 安衛法通知政令番号: 329	64742-48-9	5.0 - 10
中質アリファティックソルベントナフサ 化審法番号: (9)-1731 安衛法通知政令番号: 329	64742-88-7	5.0 - 10
ケイ酸アルミニウム 化審法番号: (1)-26	66402-68-4	3.0 - 7.0
ホワイトミネラルオイル (石油) 化審法番号: (9)-1692 安衛法通知政令番号: 169	8042-47-5	3.0 - 7.0
グリセリン 化審法番号: (2)-242	56-81-5	1.0 - 5.0
ひまし油 化審法番号: 営業秘密	営業秘密	1.0 - 5.0

P R T R法指定化学物質の有無: 非該当

成分に関する特記事項:

本品の成分はT S C Aに適合している。

本品の成分はE I N E C Sに収載されているか、又はモノマーがE I N E C S収載されている適用除外ポリマー。

3 危険有害性の要約

最重要危険有害性:

下記有害性並びに物理的及び化学的危険性を参照

有害性:

目、皮膚、気道を刺激することがある。
 中枢神経に影響を与え、頭痛、めまい等を起こすことがある。意識喪失を起こすことがある。

飲み込むと健康障害を起こすことがある。

物理的及び化学的危険性：

可燃性がある。熱、火花及び火炎で着火することがある。
蒸気は空気より重く、地面あるいは床に沿って移動し、遠距離引火の可能性がある。
密閉した容器を火炎にさらすと、内部の圧力が高くなり、爆発の可能性がある。

分類の名称（分類基準は日本方式）：引火性液体

4 応急措置

吸入した場合：

被災者を空気の新鮮な場所に移動させる。徴候・症状が現れた場合は、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

水及び石鹼で洗い流す。徴候・症状が現れた場合は、医師の診断を受ける。

目に入った場合：

多量の水で洗眼する。徴候・症状が持続する場合は、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

吐かせてはならない。
コップ2杯の水を与える。被災者に意識が無い場合は、口から何も与えてはならない。
医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

消火剤：

B火災用消火剤を使用する（粉末消火薬剤、二酸化炭素等）

消火方法：

効果的な消火をするには、水は不適當であるが、火炎に暴露されている容器を冷却して爆発を防ぐため使用する。

ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用のこと。

火災時における暴露の危険：

火災の熱で密封している容器が圧力を増し爆発するおそれがある。
蒸気が地上や床をはって着火源に流れ、遠距離引火することがある。

6 漏出時の措置

個人防護：

危険有害性情報、健康障害、呼吸保護具、換気、個人保護具については、本データシートの他項を参照。

除去方法：

大量の場合には、下水設備に入るのを防止する為に下水溝にカバーをし土手をつくる。
十分な量の適切な吸収剤で漏洩物を囲みながら覆い、漏洩箇所が乾燥するまで吸収させる。
容器を密封する。危険地域から人を避難させる。すべての着火源を断つ。周囲を換気する。
大量に漏洩した場合又は閉じ込まれた場所に漏洩した場合は、換気装置を使用して蒸気を拡散又は排出する。警告！モーターは着火源となることがあるので漏洩場所の可燃性のガス又は蒸気を燃焼又は爆発させる可能性がある。漏洩を止める。水性膜泡消火剤で漏洩箇所を覆う。水で覆う。
吸収剤を加えることは危険有害性の除去にならないことに注意する。
スパークしない道具を使って回収する。水で残さを清浄する。溶剤を含んだ残留物を回収する。
金属製の容器に収納する。回収した物質はできるだけ早く廃棄する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

酸化剤との接触を避ける。

摂取防止：

本品を使用中は、飲食又は喫煙を禁ずる。本品が接触した箇所は、石けんと水で十分に洗うこと。
子供の手の届かない場所に保管する。

保管：

熱から離して貯蔵する。直射日光を避けて貯蔵する。

不適合物質：

酸から離して貯蔵する。酸化剤から離して貯蔵する。

火災防止：

内容物を移し換える時は、容器を確実に接地する。
耐静電気性の靴を履くか又は、靴を接地する。
本品を取り扱い中は禁煙。

爆発防止：

熱、火花、裸火、その他発火の危険のあるものから遠ざける。可燃性液体と可燃性蒸気

8 暴露防止及び保護措置

設備対策：

適切な局所排気装置を使用する。
一般的な希釈換気及び／又は局所排気装置を使用して空気中の濃度を許容濃度以下に管理する。

管理濃度：

水 (7732-18-5)

数値：設定されていない

石油ナフサ (64742-48-9)

数値：設定されていない

中質アリファティックソルベントナフサ (64742-88-7)

数値：設定されていない

ケイ酸アルミニウム (66402-68-4)

数値：設定されていない

ホワイトミネラルオイル (石油) (8042-47-5)

数値：設定されていない

グリセリン (56-81-5)

数値：設定されていない

ひまし油 (営業秘密)

数値：設定されていない

許容濃度：

水 (7732-18-5)

日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：設定されていない
ACGIH TLV：設定されていない

石油ナフサ (64742-48-9)

日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：設定されていない
ACGIH TLV：設定されていない
3M社 許容濃度 TWA：100 ppm 1990

中質アリファティックソルベントナフサ (64742-88-7)

日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：設定されていない
ACGIH TLV：設定されていない

ケイ酸アルミニウム (66402-68-4)

日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：1 mg/m³ 吸入性粉塵 4 mg/m³ 総粉塵
ACGIH TLV：設定されていない

ホワイトミネラルオイル (石油) (8042-47-5)
 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない
 ACGIH TLV: 設定されていない

グリセリン (56-81-5)
 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない
 ACGIH TLV: 10 mg/m³ TWA ミストとして 1985

ひまし油 (営業秘密)
 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない
 ACGIH TLV: 設定されていない

保護具, 個人防護:

呼吸保護具:

通常の使用条件では、呼吸保護具が必要な程度の粉塵暴露は予想されない。
 蒸気、ミスト又はスプレーの吸入をさける。

保護眼鏡:

目への接触を避ける。
 蒸気、ミスト又は噴霧が目には接触することを避ける。
 目に接触することを防止するために次記のものを単独又は組み合わせで着用する。
 サイドシールド付きの安全眼鏡

保護手袋:

次記の材料で作られた手袋を使用すること。 ニトリルゴム

保護衣:

皮膚との接触を避ける。

9 物理的及び化学的性質

形状、色、臭い:	液状、淡オレンジ色、かすかな芳香臭
pH:	8.2 - 8.4
沸点/範囲:	100 °C
融点/範囲:	適用しない
引火点:	約 49 °C セタ密閉式
発火点:	未測定・不明
爆発範囲—下限(%):	0.8 %
爆発範囲—上限(%):	6 %
揮発パーセント:	80 - 90 %
蒸気圧:	未測定・不明
蒸気密度:	> 1 (空気=1)
比重:	0.996 (水=1)
水溶性:	1 - 10 %
蒸発速度:	4.4 (エーテル=1)
粘度:	3500 - 4500 cps

1 0 安定性及び反応性

安定性・反応性： 安定。危険な重合は起こらない。

避けるべき物質： 知見はない。

有害な分解物： 毒性の蒸気、ガス又は微粒子 一酸化炭素 二酸化炭素

1 1 有害性情報

目に入った場合：
軽度の目の刺激：症状は発赤、腫脹、痛み、催涙を含むことがある。

皮膚に付着した場合：
軽度の皮膚刺激：症状は発赤、腫脹、かゆみを含むことがある。

吸入した場合：
吸入により体内に吸収されて全身的な健康障害を起こすことがある。
上気道が刺激される可能性がある（症状は鼻と喉の痛み、咳、くしゃみを含むことがある）

飲み込んだ場合：
飲み込んだ後、吸収されて全身的な健康障害を起こすことがある。 摂取した場合：
胃腸管組織が刺激される可能性がある（症状は痛み、嘔吐、腹部圧痛、はきけ、嘔吐物の混血、便の混血を含むことがある）

その他有害性情報：
長時間又は反復暴露した場合：
中枢神経の抑制：徴候・症状は頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失を含む。

1 2 環境影響情報

生態毒性：
未評価

その他環境影響情報：
規制は、地域により異なることがあるので、事前に適用法令の調査を行こなうか、又は役所に確認する。

1 3 廃棄上の注意

販売された製品：
有害物質用焼却設備で焼却する。
選択しうる廃棄方法として、許可を受けた有害廃棄物処分場に廃棄する。

廃棄に関する特記事項：
関係法令に基づき自社で産業廃棄物として適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に処分を委託する。

1 4 輸送上の注意

国連番号： 1 9 9 3 その他の引火性液体（その他の危険性を有しないもの）

国連分類（IMO）： 3 引火性液体類

国連分類（ICAO）： 3 引火性液体

容器等級：III

注意事項：

取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定める所に従う。

1.5 適用法令

日本国内法規制（主な適用法令）：

消防法：指定可燃物（可燃性液体類）

船舶安全法：引火性液体類

労働安全衛生法：施行令別表第1引火性のもの

労働安全衛生法：施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物

適用法規に関する特記事項： その他の情報が必要な場合は当社にお問い合わせください。

1.6 その他の情報

特記事項：危険、有害性の評価は、必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

改訂理由：

成分情報、危険有害性情報、適用法令及び様式等を変更

この製品安全データシート（SDS）の情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、製品安全データシートに記載内容について、ある特定目的への適合性又は、商取引への使用等について一切の保証をするものではありません。当社の製品が、ユーザー各位の特定の目的及び使用方法に適合しているか否かは、ユーザーで判断して下さい。ユーザー各位の使用条件に基づいた適正な安全管理に役立てて頂くため、当社の製品を使用する場合に影響があると考えられる種々の要因を提供したものです。